



研究発表会

校長 眞瀬 敦子

11月1日の金曜日、素晴らしい秋晴れの下、練馬区内外から202名の先生や教育関係者、66名の保護者、計268名もの参観者を得て、研究発表会を開催しました。

これは本校が昨年練馬区教育委員会から教育課題研究校としての指定を受け、この2年間研究を続けていた「どの子ども自信をもって書くことのできる指導法の工夫」というテーマで、5時間目に公開授業、その後研究発表と講演会という形で行ったものです。

この研究について、嬉しい声が沢山寄せられましたので、ここにいくつか紹介します。

○児童が一人一人書く作業に取りかかるに当たって、事前の指導が大変丁寧にされているということが印象的でした。始め・中・終わり、使いたい表現なども明確にしておくことで、児童が一人での作業に集中して取り組めているように感じました。

○どの学年もステップ1, 2, 3と指導の過程が見られるように工夫した公開がされていて、とても参考になりました。どの学年も同じステップを踏んで6年間学習していくと、すぐく力がつくと思いました。

○子供たち誰でも皆が書いて表現できるよう、モデル文をはじめ様々な工夫がされていました。学年毎の指導過程がよくわかる掲示物や、各組の展開でした。どの子どもわかりやすい指導の下、よく考えて集中して学習に向かい、素晴らしいと思いました。

○分かり易い発表でした。特に寸劇が良かったです。先生方の仲の良さ、団結力も感じさせていただきました。子供と同じように、先生方にも充実した研究だったことが伝わってきました。

○講師の田中先生のご講演が大変分かり易く、目の前が晴れる思いでした。

○子供たちが集中して書くことを楽しんでいる様子に驚きました。また、皆字もきれいでびっくりです。

○児童一人一人がまさに自信をもって書いている姿や、児童相互に作文の中身を評価し合う力の高さに、非常に驚くと共に大変意義深く学ばせていただきました。

○しっとりと落ち着いた学習展開がなされ、どの学級にも一生懸命書くことに取り組む子供たちの姿がありました。参観してよかったです。

○保護者の案内がとても親切で嬉しかった。図書室まで連れてきてくださった保護者の方、バスから降りてすぐ案内してくださった方々等、ありがとうございました。裏方の方々の誠意が身にしみました。

○体育館の演題表示等の素晴らしい毛筆、国語研究発表会にふさわしい文字に感動させられました。

この題字は須佐先生のご主人様が書いてくださったものです。谷原小に務める全ての職員、保護者の皆様のお手伝い、全てが一丸となってできた発表会でした。そして、子供たちの挨拶の良さ、素直さ、ひたむきさを皆様に褒めていただいたのが、何より嬉しい発表会でした。

8日にはPTA主催委の縄跳び教室で体を鍛え、15日の全校遠足では、思いやりの心を育て、知徳体のバランスのよい成長を目指す谷原っ子を、これからも見守って行ってください。